

GLP五霞の建設地は、
 エム・ケー（小林勤社長、
 東京都日野市）が業務代
 行者として進めていた「五霞
 IC（インターチェンジ）周
 辺地区土地区画整理組
 合事業」で整備された。同事業は
 敷地面積37・1haで、首都

エム・ケー

圏中央連絡自動車道（圏央
 道）・五霞ICの設置が決
 まった1995年に都市計
 画決定されて以来、20年越
 してようやく実を結んだ。
 これまで、地権者の合意
 形成が難航し、なかなか
 進まなかった。しかし、土地

土地区画整理事業

1年半で認可手続き



20年越しで実を結ぶ
 （五霞IC周辺）

で実現。GLP五霞は
 第一号案件となった。

同社は「地権者、行
 政、民間とタッグを組
 み、一つの目的にスピ
 ード感を持って一直線
 で進むことができた」
 と振り返る。

現在、B区画（8
 万3500平方メートル、7
 200平方メートル）に入居
 する企業を募集。引き続き、
 同社が2013年に業務代
 行者に決定して以降、わず
 か1年半で地権者の合意を
 取りまとめ、認可手続きま
 展開していく。

（高橋朋宏）